

主催
IAMAS
岐阜県
大垣市

後援
外務省
文化庁
岐阜県教育委員会
大垣市教育委員会
大垣商工会議所

協力
NPO法人 まち創り
大垣市商店街振興組合連合会
株式会社 江戸っ子
株式会社 昭和不動産
岐阜県美術館
GALLERY ゆう
GLAMDY
財団法人 大垣市文化事業団
ヤナゲン大垣本店
悠斎研究会

お問い合わせ

IAMAS
情報科学芸術大学院大学
岐阜県立国際情報科学芸術アカデミー
産業文化研究センター
〒503-0014 岐阜県大垣市領家町3丁目95番地
3-95 Ryoke-cho, Ogaki, Gifu, 503-0014
Tel: 0584-75-6606 Fax: 0584-75-6604
E-mail: rcic@ml.iamas.ac.jp

www.iamas.ac.jp/biennale10

2010.9.22 wed – 26 sun

大垣市内各所 Throughout Ogaki City, Gifu

入場無料 Free admission

岐阜 おおがきビエンナーレ
OGAKI BIENNALE 2010



イベントスケジュール Events Schedule

イベント Events

G	9月22日(水)	14:00-14:30	オープニング+ミニコンサート
H	9月23日(祝木)	17:00-19:00	大垣まちなか舞台
K	9月25日(土)	14:00-18:00	OOPS! —Open Ogaki Planetarium Session

シンポジウム Symposia

G	9月22日(水)	16:00-17:30	基調講演「土地の力を借りて、心と地域を耕す」
G	9月26日(日)	16:00-17:30	飯沼愨斎シンポジウム「科学者になった芸術家」

アーティストトーク Artists Talk

CD	9月23日(祝木)	13:00-14:30	Product as New Art — 温故地新
-----------	-----------	-------------	---------------------------

ワークショップ Workshops

G	9月23日(祝木)	14:00-17:00	色々[いろいろ]ハンター
A	9月23日(祝木)	15:15-16:45	CCCcity Remix
F	9月25日(土)	11:00-13:00/12:00-14:00	かいじゅうどうぶつえんをつくろう!
F	9月26日(日)	13:00-15:00/14:00-16:00	かいじゅうどうぶつえんをつくろう!

展示 Exhibitions 平日13:00-18:00/土日祝11:00-18:00

A	CCCcity Remix
A	羊飼いの物語
A	意味情報指向ガイダンス
BG	愨斎資料館
CD	Product as New Art — 温故地新
E	IAMAS TELEVISION
G	色々[いろいろ]ハンター
G	都市相と大垣
I	流れゆく言葉 17:00-19:00
J	美術としての蘭学

※土日祝には展示会場を巡るツアーもあります
詳しくは総合案内へお尋ねください

「温故地新」とは、
伝統的な芸能や産業と IAMAS のもつ
最先端のテクノロジーが出会うことで、
大垣という地域を新たに活性化させる
という意図をもつテーマです。

展覧会、コンサート、パフォーマンスな
どさまざまなイベントを通して大垣の魅
力を引き出します。

The “Product as New Art” theme
revolves around revitalizing the Ogaki
area by bringing together traditional arts
and industry with the cutting-edge
technology of IAMAS. Exhibitions,
concerts and performances will
showcase the appeal of Ogaki.

Make: Ogaki Meeting

同時開催

2010.9.25 sat – 26 sun

sat 12:00–18:00 / sun 10:00–18:00

ソフトピアジャパンセンタービル Softopia Japan Center Building

www.makeogakimtg.org

JR大垣駅
Ogaki Station

養老鉄道

サークルK

ヤナゲン大垣本店B館

● スイトピアセンター
コスモドーム

K P

● 大垣市立図書館

● 興文中学校

A IAMASOS (総合案内)

CCCity Remix / 羊飼物語 / 意味情報指向ガイダンス

B ヤナゲン ショーウィンドウ

惣斎資料館

C ギャラリー A

Product as New Art - 温故地新

D ギャラリー B

Product as New Art - 温故地新

E 江戸ッ子ビル

IAMAS TELEVISION

F まちづくりプラザ

かいじゅうどうぶつえんをつくろう!

G 多目的交流イベントハウス (総合案内)

色々[いろいろ]ハンター / 惣斎資料館 / 都市相と大垣

H 大垣駅通り (新大橋交差点から郭町交差点まで)

大垣まちなか舞台

I 大手いこ井の泉

流れゆく言葉

J GALLERY ゆう

美術としての蘭学

K スイトピアセンター コスモドーム

OOPS! - Open Ogaki Planetarium Session

★ 新大橋インフォメーション

◆ GLAMDY : 同時開催企画

水門川

郷土館

大垣城
Ogaki Castel

大垣公園

大垣城ホール

税務署

大垣市役所
Ogaki City
Office

● 大垣共立銀行本店

○ 美濃路大垣宿本陣跡

↓ 住吉燈台

○ 飯沼惣斎邸跡

0 100m

おおがきビエンナーレ基調講演

「土地の力を借りて、心と地域を耕す」

鎌田東二（京都大学こころの未来研究センター教授）

9月22日（水）16:00-17:30

📍 大垣市多目的交流イベントハウス

「耕す」と「文化」は同じカルチャーという語源をもちます。ゲニウス・ロキ（地霊）を現在捉えられている「土地の雰囲気」といったものではない、より根源的な意味合いから土地と心のありかたを問います。

アーティストトーク

Product as New Art — 温故地新

真鍋大度＋石橋素、マーティン・リッチズ＋三輪真弘、トロイ・イノセント＋インデ・ホワン、アニー・ワン＋ユンス・カン、佐藤慶次郎（代理 池田萌）

9月23日（祝木）13:00-14:30

📍📍 ギャラリー A/B

作家が語る「Product as New Art」展示作品。出展作家が、ツアー形式で順番に作品前での作品の解説を行います。（日本語通訳付き）作家自身が語る作品の意味を感じ取ってください。

飯沼慾齋シンポジウム

科学者になった芸術家

遠藤正治（慾齋研究会）、小林昌廣、入江経一

9月26日（日）16:00-17:30

📍 大垣市多目的交流イベントハウス

飯沼慾齋とは誰だったのか？本草学者、当時最先端の蘭学者、優れた町医者、膨大な植物画の芸術家、あるいは日本最初の近代的植物学者、そして写真家。そんな慾齋をめぐるシンポジウム。



街の変容

CCCity Remix

街の過去／現在を記録し、古の街の記憶を思い返しつつ、その記憶から街の新しい形を作り出し、街を変容させていきます。

CCCity Remix は、街の記憶と新しい街への変容と、Creative Commons ライセンスによるコンテンツ改変の可能性を探る作品です。場の風景や音などの記憶を記録すると同時に、それらの記録に Creative Commons ライセンスを利用して新たな創造性を加え、各々の場への解釈を加えると共に、街を新しく変容させていきます。iPhone を使うことで、実際の場でその場の記憶を確認しながら、未来へ続く新しい風景を作っていくことができます。

平林真実
Masami Hirabayashi

ワークショップ Workshops

9月23日(祝木) 15:15-16:45 (展示終日)

A IAMASOS



これまでに開催したワークショップの様子

色色 [いろいろ] ハンター

IRO IRO hunter

大垣のまちなかにある色を集めてみよう!
『色色ハンター』は、写真でできた絵「フォトモザイク」を作るワークショップです。身のまわりにある「色」を探して、写真を撮り、その写真を使ってひとつの絵を作ります。撮影した写真をコンピュータに取り込み、加工して出来上がった絵は、プリンタでポストカードに印刷します。

IAMAS DIT コース きりん組
IAMAS DIT Course Team Giraffe

ワークショップ Workshops

9月23日(祝木) 14:00-17:00 (展示終日)

G 大垣市多目的交流イベントハウス



セカイカメラによる拡張現実空間の表示画面

空間アルゴリズム @ 岐阜おおがきビエンナーレ 「かいじゅうどうぶつえんをつくろう！」

Kuukan Algorithm
@ GIFU OGAKI BIENNALE
“Let’s make Monster Zoo !”

スマートフォン用のソーシャル AR システムであるセカイカメラを用いて、拡張現実空間において大垣の街に新しい魅力を与えるプロジェクト。

「かいじゅうどうぶつえんをつくろう！」では、ワークショップ形式で実際に描いたかいじゅうたちを拡張現実空間の大垣の街に解き放ちます。

間もなく完成する大垣かいじゅう動物園へかいじゅう博士と一緒に iPhone を持って出かけよう！

空間アルゴリズム制作チーム
Kuukan Algorithm

ワークショップ Workshops

9月25日(土) ① 11:00-13:00 ② 12:00-14:00
9月26日(日) ① 13:00-15:00 ② 14:00-16:00

F まちづくりプラザ



大垣舞台絵図

大垣まちなか舞台

Ogaki Downtown Stage

大垣駅南側の商店街を歩行者天国にして、道路上に舞台を設営し、そこでパフォーマンスやコンサート、ファッションショーなどを展開します。普段は静かな商店街に突如として舞台が出現させ、そこでさまざまな身体表現が立ち現われます。「大垣まちなか舞台」は、まちをデザインするプロジェクトの教員と学生によって開催されます。大垣の内外から来られた人びとが即席の舞台のうえで舞踏、演奏、ショーを繰り広げ、夕暮れの町を彩ります。IAMASのプロジェクトと地域の方々との協力の成果がひとつの舞台となって結実します。

まちをデザインするプロジェクト
Designing Ogaki Project

イベント Events

9月23日(祝木) 17:00-19:00

H 大垣駅通り(新大橋交差点から郭町交差点まで)



DSP コースメンバーによるライブパフォーマンス



羊飼い物語 (2010)

OOPS!

— Open Ogaki Planetarium Session

コスモドームのプラネタリウムを使用して、「温故地新」をテーマとした音楽や映像を中心とする展示やライブ演奏を行ないます。星空の投影とともに楽しみいただける先進的で魅力的な作品を制作しました。また、IAMAS DSP コースを中心として取り組んでいる Mobile Media Project では、モバイルメディアを使った表現研究として独自の観点からの作品の数々、プロトタイプからマスターピースまで玉石混交の展示を行います。ライブの様子は NxPC.Lab により Ustream 中継されます。

出演者：Craftwife、kazuomi eshima、栗山絵吏、鈴木由信、トウマンノブ、三澤太智

IAMAS DSP コース+モバイル・メディア・プロジェクト + NxPC.Lab
IAMAS DSP Course + Mobile Media Project + NxPC.Lab

イベント Events

9月25日(土) 14:00-18:00

K スイトピアセンター コスモドーム

羊飼い物語

The Shepherd's Story

タクシーの運転手や理容室の店主が語る「都市のイメージ」の中を羊飼いが彷徨い歩く。途中ではぐれた一匹の羊が街の人々に質問する「あなたにとって理想の場所はどこ?」羊飼いやそのことを考えながら放牧するのだった…「羊飼い物語」はフィクションであると同時に、未来を想像しながら現在の都市の姿を鑑賞するドキュメンタリー映画です。この作品は厳密なスコア(指示書)から作られています。同じスコアをもとに他の都市で制作した「羊飼い物語」を併映することで、大垣特有の風景を検証します。平面作家の井上信太さんを羊飼いに迎え、大垣に住む様々な方の協力によって作品は完成しました。

H. 584

A IAMASOS



ガイダンスシステム

意味情報指向ガイダンス

Semantic Aware Guidance

iPhone を使ったガイダンスシステムです。おおがきビエンナーレの展示等について、関心に応じた情報を得ることができます。希望される方には端末をお貸しします。iPhone をお持ちであれば専用アプリをインストールし、体験していただくことができます。

※インストールに関しては、窓口にてご相談ください

実世界意味情報指向インターフェイスプロジェクト
Real-world Semantics Aware Interface Project



撮影風景

IAMAS TELEVISION

iamasTV プロジェクトメンバーが「大垣の街と人」をモチーフに映像作品を制作しました。このビルでは iamasTV 局公開スタジオとしてプロジェクト成果物や制作ドキュメントが展示上映されています。

また、これまで 10 年以上にわたり放送されてきたケーブルテレビ番組「iamasTV」の過去放送アーカイブ視聴コーナーも併設しております。

<http://www.iamas.ac.jp/tv/>

IAMAS CGI コース+ iamasTV プロジェクト
IAMAS CGI Course + iamasTV Project

Product as New Art — 温故地新

新しい芸術として、メディアの意味の生産性を問う5つの作品、真鍋大度 + 石橋素「Pa++ern」、マーティン・リッチズ + 三輪眞弘「The Thinking Machine」、トロイ・イノセント + インデ・ホワン「Media Creatures」、アニー・ワン + ユンス・カン「Muybridge Moment (MuMo)」、佐藤慶次郎「エレクトロニック・ラーガ」を展示します。

人間はずっと昔からメディア的なものを理解していたかもしれません。だから、私たちはメディアに対して原初的な感覚を持っていると考えられます。これらの作品を通して、何か意思であると同時に機械そのものでもある、長い時代を生存し続けているかのようなメディアという新しさを感じ取ってください。

真鍋大度 + 石橋素

マーティン・リッチズ + 三輪眞弘

トロイ・イノセント + インデ・ホワン

アニー・ワン + ユンス・カン

佐藤慶次郎

企画 関口敦仁

Daito Manabe + Motoi Ishibashi

Martin Riches + Masahiro Miwa

Troy Innocent + Indae Hwang

Annie Wan + Eunse Kang

Keijiro Sato

planned by Atsuhito Sekiguchi

 **文化庁** 平成 22 年度国際芸術交流支援事業

 **ギャラリー A/B**



Pa++ern



The Thinking Machine (2007)



Media Creatures



Muybridge Moment (MuMo)



エレクトロニック・ラーガ (1980年) 岐阜県美術館蔵

慾齋資料館

Yokusai Museum

大垣が生んだ日本のダ・ヴィンチ、飯沼慾齋に光を当て、その業績とともに素晴らしい植物研究と絵画作品を紹介します。

慾齋は幕末に生きた医者、科学者であり芸術家です。蘭学医として大垣で名を馳せた慾齋は、杉田玄白の解体新書にもとづき人体解剖を行うなど、当時の最新医学を探求しましたが、後年は植物学の研究に没頭し数々の美しい植物画を描き、カール・フォン・リンネ（17世紀の博物学者・スウェーデン）の分類法による『草木図説』をまとめ、海外からも高い評価を得ました。晩年には写真の研究も行っています。

慾齋資料館では美しい草木図説の植物画を数多く展示するとともに、科学と芸術を融合させた慾齋その人、その研究を解説していきます。

まちをデザインするプロジェクト
Designing Ogaki Project

協力：慾齋研究会

B ヤナゲン ショーウィンドウ

C 大垣市多目的交流イベントハウス



よくさい屏風 慾齋資料館（ヤナゲン展示）



飯沼慾齋と本草学の師小野蘭山





都市相 = 大垣

都市相と大垣

Aspect of city

都市に固有のパターンを抽出し、それを再構築することで、手相のような都市の相を明らかにする作品を展示します。

「都市相＝大垣」は、建物と建物を繋いでいる“隙間”から大垣の街の特徴を捉え、普段は意識していなかった、これらの情報でも街を感じることができることを提示します。

「The Accessor of Space」は、携帯端末で音声情報を聞きながら街を歩く作品です。聞こえてくる情報はその場所についてのインターネット上のブログサイトやウィキペディアの書き込みから集められたもので、個人の記憶や一般的な情報などが一体となったものです。これらの作品は普段見慣れている大垣という街に“かたち”を与え、街を読み直すことを可能にします。

空間情報学研究プロジェクト

Spatial Informatics Research Project

G 大垣市多目的交流イベントハウス



作品イメージ

流れゆく言葉

The Floating Words

今は昔、水の流りに杯を浮かべ自分の前を通り過ぎるまでに詩歌を読む遊びや僅か17文字に余韻を残す俳句など、ゆったりとした時間と少ない言葉で情報の遣り取りをしていました。しかし今やネット上には大量の情報が飛び交い、twitterでは一日5000万ツイートを越えるといわれる大量の言葉が消費されています。大垣の水イメージをモチーフにtwitterの怒涛のごとく溢れる言葉を石段から滝のごとく流れ落ちる様に準え、滝壺から湧き出す泡が水面をたゆたいながら流れゆく様を大量の文字が古(いにしえ)の言葉に変化していく様に例え、現代の浪費する情報と余韻を残す古の情報とを対比させ、水都と情報の可能性を表現してみました。

IAMAS AND コース

IAMAS AND Course

I 大手いこ井の泉 17:00-19:00



産育全書

美術としての蘭学

the study of Dutch as arts

江戸から明治にかけて、西濃は蘭学を初めとする様々な医療を含む学問の地として、栄えました。

この展示では代々医療の家系として、六代に渡って漢方、蘭学、西洋医学に従事している勝野家が所有する医学書や医療関係道具などから、美術としての展示を行います。

また、飯沼慾齋の図鑑から植物の複製をつくり、これら過去の蘭学へのオマージュを包み込むオブジェ作品を八嶋有司が制作し、ともに展示を行います。

八嶋有司 + 美術としての蘭学プロジェクト

Yuji Yashima + SDA Project